目的積立金の活用状況について

剰余金の使途については、地方独立行政法人法第26条の規定により中期計画において定めることとされている。

公立大学法人県立広島大学では、その中期計画で「教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる」と定めており、法人(役員会等)で決定の上、剰余金(目的積立金)の具体的な使途を定めている。

① 21年度 目的積立金【実績】

(単位:千円)

使 途	実 績
【教育研究の質の向上】	
実験実習機器整備	32,385
環境工学実験棟・食品加工場整備(庄原キャンパス)	44,522
骨密度測定器の整備	22,050
合 計	98,957

② 22年度 目的積立金【実績】

(単位:千円)

<u> </u>	\ 1 \— \ 1 \ 1 \ 7 \
使 途	実績
【教育研究の質の向上】	
実験実習機器整備	97,942
環境工学実験棟・食品加工場整備(庄原キャンパス)	21,431
FD研修用教材の整備	982
宮島学関連資料等の充実	1,374
学生寮(庄原キャンパス)エアコン整備	5,800
防犯機器類の増設	5,852
地上デジタル放送移行に伴う対応	2,353
【組織運営の改善】	
証明書発行機の整備	11,729
照明器具に係るセンサースイッチ整備	1,376
エネルギー消費効率の高い照明器具の導入	2,434
合 計	151,273

③ 23年度 目的積立金【実績】

(単位:千円)

使 途	実 績
【教育研究の質の向上】	
実験実習施設・機器整備 ~医療用測定機器 分析解析機器等	136,567
情報システムの整備 ~シラバスシステム等	51,135
楠那グランドの整備 ~整地, フェンス設置等	46,380
教員学外研修助成の実施 ~海外大学等における研修助成	844
学内の安全・安心確保のための緊急的施設整備	37,133
合 計	272,059

② 24年度 目的積立金【実績】

(単位:千円)

使 途	実 績
実験実習施設·機器整備等	115,913
情報システムの整備	6,947
国際交流推進(留学生の勉学・生活支援等)	7,772
省エネルギー推進事業(省エネ対応機器導入等)	16,954
学生支援体制の充実, 学生生活の質的改善	16,914
サテライトキャンパスの設置	68,337
合 計	232,837

(参考 目的積立金の状況)

(単位:千円)

年度 					合 計		
十	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
積立額	_	330, 532	363, 330	254, 008	116, 047	199, 250	1, 263, 167
取崩額	_	0	98, 957	151, 273	272, 059	232, 837	755, 126
期末残高	_	330, 532	594, 905	697, 640	541, 628	508, 041	508, 041